



ZENFUREN

2015年10月2・3日

号外

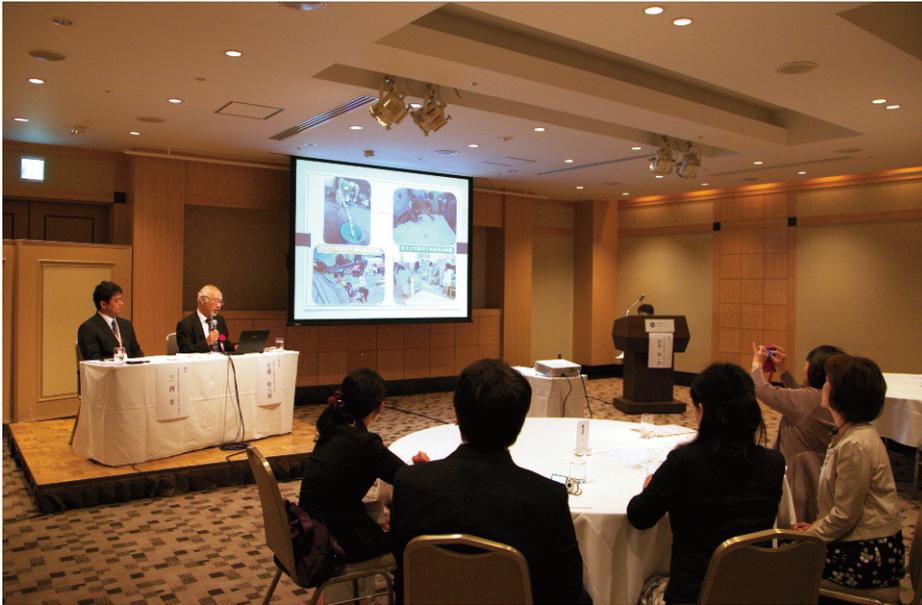
全国国立大学附属学校連盟
 全国国立大学附属学校 PTA 連合会
 〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
 虎ノ門産業ビル 8F
 TEL : 03-3591-2091
 FAX : 03-3591-2092

全附P連PTA研修会 第6回全国大会

校種別分科会

幼稚園部会

附属幼稚園の存在意義を再確認



今回の幼稚園部会研修会のテーマは「魅力ある附属幼稚園」創造のための具体的な方策」ということで大学・園・PTA それぞれがどのような取り組みをし、また地域や社会にどうアピールしていくべきかを各園の具体例を挙げてディスカッションしていきました。附属幼稚園にしかできない「これぞ幼稚園教育」というものを広く公表していくことが必要であり、時代のニーズにあった延長保育などの形も考えていかなくてはならないと実感しました。

ディスカッションに先立ち、今回のテーマが選ばれた背景について埼玉大学附属中学校長首藤敏元先生より説明がありました。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基盤を作るもので大変意義がある。その教育が可能なのは大学との様々な連携を持ち、研究をしている附属幼稚園である。しかしながら、附属幼稚園の定員割れが起きるのは地域や社会に対して情報発信が十分でないことや、附属のイメージだけが先行し敷居が高いと思われること。また、他の園で行われている預かり保育や延長保育が充実していない等を挙げられました。

首藤先生の説明を受け、グループディスカッションでは各園が実践している具体的な取り組みとその成果を PTA 代表者の立場として話し合

いました。その後、各グループで話し合われた内容を発表し全体の情報共有が行われました。取り組み内容として多かったものを二つご紹介します。まず一つ目は、お父さんたちで作る「父親の会」（園によって名称は様々でした）なるものを結成しお父さんたちに行事やボランティア活動に積極的に参加してもらい、そこから情報発信をしていくという取り組み。もう一つは、預かり保育や保育時間の延長でした。これについては、時間も形態もさまざまなものがありました。

また、昨年実践事例として挙げられた鳥取大学附属幼稚園と愛媛大学教育学部附属幼稚園のその後の報告と、福島大学附属幼稚園の取り組みについても紹介がありました。

それぞれの園が置かれている状況は様々ですし、地方と都市部でも受験者の倍率は全く違います。しかし、全国の附属幼稚園の状況や取り組みについて意見を聞くことで、今後の PTA 活動の参考になることは間違いないでしょう。



香川大学教育学部附属幼稚園
 PTA 副会長 栗野いづみ 取材